

アジア CSR 最前線 23

ジャッキー・エン (CSR アジア プロジェクト・コーディネーター)

監修：高橋 佳子 (CSR アジア シニア・プロジェクト・マネージャー)



動物福祉こそ、エシカルなサプライチェーンの次の課題

アンゴラ・ウサギは 18 世紀半ばからペットとして人気が高い。このウサギのふわふわした柔らかい毛はセーターなどの高級素材として使われるアンゴラウールの原材料だ。しかし、農場や工場で大量生産され、毛の収穫を行うプロセスに動物福祉上の問題が指摘されている。バングラデッシュのラナプラザで 2013 年に起きたビル崩壊と 2012 年の火事は世界のサプライチェーンにおける工場労働者の労働条件や待遇といった問題で消費者の注目を集めたが、今、関心が高まっているのが動物に対する倫理的な問題だ。

企業や政府のサプライチェーンの取組みにおける焦点は社会的なコンプライアンスで、これまで動物福祉はあまり懸念されてこなかった。しかし、テキスタイルやアパレル産業は動物由来の素材に大きく依存しており、最近の NGO や社会活動家の活動で動物への非倫理的な扱いが露呈した。

アンゴラ・ウサギの毛の問題は、最近、アメリカの動物愛護団体である PETA (動物の倫理的扱いを求める人々の会) が、世界のアンゴラ毛の収穫の 90% を占める中国のアンゴラ毛農場を調査したことで話題になった。PETA が撮影したビデオには、生きながら無理やり毛を剥がされ、痛みで叫んでいるウサギが映っている。ウサギは 2 年から 5 年にわたり、3 か月ごとにこの非人道的な拷問に苦しむことになる。ニュースや署名運動が広まり、H&M、ASOS、スポーツガールといったブランドはサプライチェーンからのアンゴラ毛の調達を禁止した。

有名アパレルブランドの事例にみる動物福祉

テキスタイルとアパレル産業がサプライチェーン管理と企業責任を果たす上で、人権問題や社会的なコンプライアンスの次に動物福祉が課題となるのは明白だ。

集团的ボイコットの他に、企業は動物福祉を念頭に置き、透明で追跡可能なサプライチェーンの確立が必要となる。労働者と対話できる企業や工場の社会的コンプライアンスとは異なり、動物は虐待されても意思表示ができないため、企業は受け身の立場になる。NGO に報告されるまで動物虐待に気づかない可能性もあり、対策の成功には地元の動物福祉団体の関与が不可欠だ。

先進事例としてパタゴニアがあげられる。同社は 2 年がかりで動物愛護 NGO と提携し、倫理的に生産、収穫されたダウンであることを証明するための 100% 追跡可能なサプライチェーンを今年秋までに開始予定だ。

パタゴニアでは、ガチョウが羽根やダウンを使用するためだけに殺されることがないように、まず、サプライヤーにダウンの材料となるガチョウが食用に飼育されたものであることを証明するよう求めた。しかしながら、その過程で同社は新たな別の課題に直面することになった。実はそのガチョウがフォアグラ用に飼育されたものであったということが、ドイツの動物権利団体のフォーパウズの調査で明らかになり、別の動物倫理の議論を引き起こしたのだ。さらに調査を実施し、パタゴニアはフォアグラ用に太らされたガチョウのダウンは使用しないよう動物権利の方針を強化した。同社はフォーパウズと良好な提携関係を構築し、サポートを得ている。同業他社のザ・ノース・フェイスは 2013 年 11 月にダウンのサプライチェーンを刷新するための類似の取組みを発表し、「動物福祉の課題と追跡可能なダウンのサプライチェーンに取組む責任ある基準」を設けることとした。

2014 年 6 月 30 日、中国では一般的な化粧品動物実験を禁止する法律が制定され、動物福祉に向け大きく前進した。ヒューメイン・ソサエティ・インターナショナルによれば、30 万匹ものウサギ、モルモット、その他の動物が毎年中国で化粧品の試験に使用されている。

しかしながら、動物を虐待から守るための道のりは長い。アンゴラの毛を倫理的に生産するには時間がかかり、現在の需要を満たせないとも言われる。動物由来の素材を使う企業は動物福祉の企業方針を設定し、サプライチェーンが関わる国や地域では、国際動物福祉基準を推進していく必要がある。サプライチェーンの刷新は企業にとって決して容易ではなく、調査や開発に努力と投資が必要で、さらに地元の農場や労働者を教育する資金も必要だ。しかし、今後も企業は受け身のままでいるか、署名運動と苦情の末で名声が傷ついた後に最後の手段として行動するか、この課題を推進するパイオニアになるか考え始める必要がある。

【ジャッキー・エン】香港を拠点とし、ステークホルダー・エンゲージメント、サステナビリティ報告書、コミュニティ投資など様々なプロジェクトを担当。また PR やメディア戦略を得意としている。香港大学では生態学や生物多様性を専攻。